

～まちづくり夢アイデア～

2、「人にやさしいふれあいパークづくり」

～主旨～

私の住む北海道で、先日（8月13日）突然、寿都町が全国区の町になったという事です。というのは、原発から出る高レベル放射性廃棄物（核のゴミ）の最終処分場選定の文献調査に寿都町が応募を検討しているという事でした。既に、北海道には都道府県唯一の核抜き条例が存在してるのにこれを無視したのです。そもそも核のゴミを埋立て処分することが適正なのかを日本国は根本から見直すよう原発政策をあらためるべきです。核のゴミが安全になる10万年先とは気の遠くなる話です。

次に、新型コロナ感染症もしかりですが、人類の歴史はまさに感染症との闘いと言われるように、黒死病やペスト、サーズ、その他今までのパンデミックを乗り越えてきました。日本では、東日本大震災で原発事故という体験をされています。

*ふれあいパークの内容

- 1、原発に関連した放射能廃棄物の知識、他
- 2、新型コロナウイルス問題、感染症対策の知識、他
- 3、人工知能、人口減少問題、格差問題、他
- 4、各企業主催の人にやさしい講演会、勉強会他
- 5、世界共通の地球温暖化対策の知識、スライド上映他

～結論～

日本全国に様々なイベントパーク、ホールなどがあるが、北海道の核のゴミ最終処分場選定問題などは、交付金（20億円）をエサに札束であおぐ行為こそ美しい国なのかと痛烈に国を批判したくなるのは当然です。確か2007年、高知県の東洋町で核の問題で同じ事例があり住民投票の実施をされたと聞いています。と言うわけで以前から地方創生論は激論しているようですが、新型コロナウイルスの猛威は拡大の一途です。そういう中で私は人にやさしい環境づくりを前提にしたもので子供から高齢者、障害者など、何度も言いますが人にやさしいふれあいパークを造ったらどうかという事です。そのふれあいプラザに行けば、自分が一番興味をもっているコーナーに行けば、体験はもちろんそれに関連した映画、ドキュメント、講師による説明会、勉強会などで知識を身につけられるような工夫があり老若男女問わずに気軽に行けるような真のふれあいを期待できるのではないのでしょうか。

～以上～